進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第２号
令和元年７月２０日発行

高三の今・・・6月の実習・・・

進路決定に向けて。ある先輩の例です。
後輩のみなさん！参考にしてください。

【二カ所で実習をした理由】

進路決定で迷っているので一カ所にしぼるために二カ所の候補で実習をしました。

【 A での実習について 】

お菓子の箱折り、機械で箱折り、盆どろろのバリ取り、組み立て、リース作りをしました。
雰囲気は仕事中は静かに黙々とやっていて休み中は話をしたり遊んだりしていました。
通勤力は冬は場が少し大変です。

【 B での仕事について 】

野菜の袋詰め、名刺作り、トリコンの仕分け、ゴミ減量グッズを作りました。
雰囲気は仕事中は静かに黙々とやっていて休み中は休んだり話をしたりしました。
通勤力は得に大変ではないです。立ち仕事もあります。

【この後どのようにしていけばいいと思いますか。今後の目標は？】

仕事の内容や通勤力距離を比べ自分の体力に合わせ休まないで行ける場所を選びたいです。今後は立ち仕事もできる体力をつけたいです。

裏面は学部毎に内容が異なります。ご希望があれば差し上げますので、担任にお伝えください。また、学校のホームページと、玄関前の掲示版でも見ることができます。

【各学部掲載記事】
小学部：車椅子で利用できる楽しい施設について
中学部：高等部卒業後の進路②～生活介護施設での生活（通所型）
高等部：前期現場実習を終えて～実習を行った３年生の現状
【共通記事】秋田県障害者技能競技大会・秋田県特別支援学校職業教育フェスティバルについて

高等部卒業後の進路②～生活介護施設での生活（通所型）

前号では、新しい事業所「秋田聖徳会多機能型支援センター第二聖和」や「生活介護事業所きらっと（分場）」を紹介しました。今号では**実際に生活介護事業所を利用している先輩の、一週間の利用状況**を紹介します。

＜Ａさんの場合＞

美術的な活動ができます。

月　～うちのあかり（地域活動支援センター）
火　～自宅
水木～ウエルビューいずみ共生ディサービスセンター
金　～聖和
土　～うちのあかり
日　～自宅

先輩たちに会えます。

送迎と入浴のサービスが受けられます。

＜Ｂさんの場合＞

月から金～聖和
土日　～自宅

毎日同じリズムで、見通しをもって過ごせます。送迎は毎日、入浴は月水金で利用しています。

本人と保護者が気に入った事業所を、毎日利用できることもありますが、難しいこともあります。そうなると、曜日で違う事業所を利用するという場合もあるでしょう。

ご紹介した通り、A さんも B さんも自分に合った過ごし方をしています。進路先を選ぶ時は、**それぞれの事業所のよさ、特徴を前向きにとらえ利用**できるといいですね。　ただし、利用場所が複数になることで、その日によって持ち物が違ったり、生活時間も変わったりするので、本人も保護者も慣れるまでは時間がかかるようです。

中学部での事業所見学や高等部での現場実習などを計画的に行い、高等部卒業後の進路を確かなものにしていきましょう。

（文責：佐々木龍）

秋田県障害者技能競技大会・秋田県特別支援学校職業教育フェスティバルが行われました

秋田県特別支援学校の職業教育のレベルアップと、一般企業への雇用促進を目指し、７月１２日（金）秋田市にぎわい交流館 AU（あう）で同時開催されました。

「秋田県障害者技能競技大会」には県内 15 校の特別支援学校の生徒や一般企業から選手が参加し、ビルクリーニングや縫製など７部門で、日頃鍛えた技を競いました。本校からは高等部３名がワープロ部門に出場し、ワードを使った３０分の課題を２回行いました。結果は相原萌さん銀賞・伊藤陸さん銅賞でした。おめでとうございます。

「秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル」には、本校は昨年度までは作業製品とパネルの展示のみでしたが、今年から高等部作業学習の「縫製・紙工班」「エコ・グリーン班」が参加しました。他校の作業学習をはじめとした職業教育の取り組みを学び、自分たちの作業製品の販売も行いました。まだまだ、他校の製品のレベルとの差があることを実感し、刺激を受けてきたところです。今後、製品の開発と改善を重ね、更に作業学習のレベルアップを目指します。

（文責：池田和）

作業製品の販売の様子